

自主学習グループ コーナー

荻川歩こう会

6月オープンした木もれ陽遊歩道を歩見してきました。道もよく整備されて歩きやすく、会の最年長の佐々木さんもマイペースで完歩されました。当日は佐々木さんを先頭に、全員で楽しく遊完歩しましょう。以上は、8月の秋葉山早朝ハイキング案内の一節です。会のムード、当日のペース等が適切に表現されています。

平成3年3月発足の荻川歩こう会は、会員93名、役員、幹事合議のもと、月1回の行事を実施、今年はずでに、角田山、菱ヶ岳、安達太良山、八方台いこいの森を登っています。

全員明るく、仲良く、助け合い、平均60余歳の年齢を感じさせない若さのある、女性の意見が大事にされるグループです。会員の頑張り、地域の一層のご支援をお願いします。

問い合わせ先

中野3-9-10 神田雅夫 (22-4137)



市民文芸

短歌

木から木へ飛騰で飛び交ふ日遊猿をテレビは謎の動物と映す

石激るたるみを掴みて口漱ぐ山の気深へ臍に染む
古谷 ケイ子(金沢町二)

俳句
蛭蟬のあるとは知らず枝を打つ
坂東 泉(美幸町一)

川柳
紫は夕暮れの花色あやめ
斎藤 淳子(古津)

善人が住むとや下水澄んでいる
篠原 昭夫(北上一)

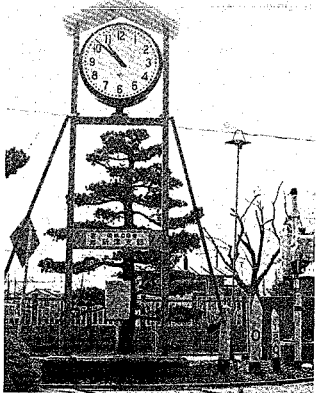
春の芽と競つてまぶしミニの膝
石崎 流子(こがね町)

小林 三代子(田家三)

鉄道
資料館だより
(14)



構内大時計



鉄道資料館の入口附近にお客様を「いらつしやいませ」とお迎えするかのようになっているのが、この構内大時計です。

鉄道の仕事は時刻に従って作業が決められているので、従業員に対して常に正確な時刻を知らせねばなりません。

この大時計は、操車場などの広い構内の高い所に設置して、構内で働く人達に時刻を知らせるもので、かつて国鉄の新潟操車場にあつて昭和五十一年まで第一線で活躍していた電気時計です。

イヌシデ叢林

新津の文化財

⑨

新津の景勝地「金津の滝」南側直上約〇・三ヘクタール程の地に、樹齢約一〇〇〜二〇〇年と推定されるイヌシデ50数本を主体とする林がある。イヌシデは本州中部以南に多い落葉広葉樹で、県内では中部以南と佐渡に見られるが、イヌシデの優占する群落は新津市金津、五泉市橋田、村松町夏針、佐渡の小佐渡地方一帯などにあるだけで、



その例は乏しい。金津のイヌシデ叢林一帯は、佐々木那殿神社の社叢林として維持されてきたもので、分布の北限に近く、県内では希少な存在である。